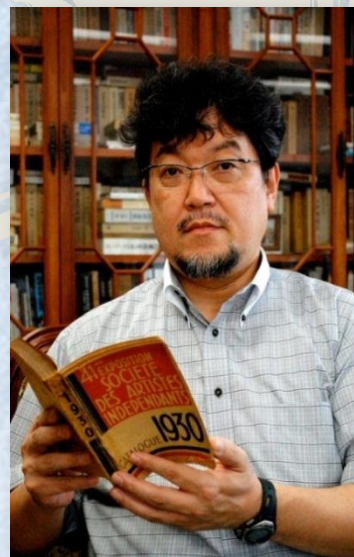


常翔歴史館 開館記念講演会
《モダン都市 大阪》の原風景を求めて
映画「大大阪観光」が織りなす都市イメージ



参加費
無料



平成26年(2014年) **9月27日(土)**
14:00~16:00

大阪工業大学 大宮キャンパス 121教室
1号館2階 (正門・片岡メモリアルゲート左側の建物)

講師
大阪大学総合学術博物館長
大阪大学大学院文学研究科教授

橋爪 節也 氏

募集人数

130名

- <対象> どなたでもご参加いただけます。(要申込)
<定員> **130名**(申込による先着順)
<申込方法> ハガキ・ファックス・電子メール(詳細は裏面をご覧ください)
<申込締切> **9月22日(月)** 定員になり次第締め切らせていただく場合があります。

お問い合わせ

【土・日・祝日を除く】

☆ 常翔歴史館事務室

Tel 06(6955)7762 【11:00~17:00】

☆ 渉外課

Tel 06(6954)4030 【9:00~17:00】

〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16-1



駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

《モダン都市 大阪》の原風景を求めて—映画「大大阪観光」が織りなす都市イメージ—

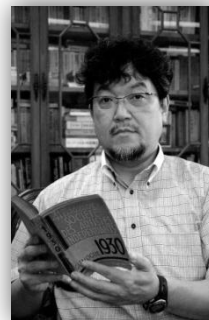
常翔学園の淵源となる「関西工学専修学校」が創設された大正11年(1922年)は、いわゆる「大正デモクラシー」を背景とした「大正ロマン」で語られる時代から、昭和の「モダニズム」へと移行していく過渡期で、わが国近代化の波のなかで独特の芸術・文化・思想が育まれた時代であった。印刷や映像技術の発展により庶民対象の雑誌も多く刊行され、街には映画館・演芸場などの娯楽施設も多く見かけられた。まさに人々の活力を示した時代でもある。

大阪市においては、大正14年(1925年)に第二次市域拡張によって大阪市が東京市を抜き日本第1、世界第6位のマンモス都市“大大阪”へと成長する。

「時代と地域が求める専門技術者を養成する」という学園創設の背景を探るうえで、時代の「明」と「暗」を知ることも重要なことである。学校創設から今日に至るまで大阪工業大学を始め設置学校の数多くの卒業生が都市基盤整備を担ってきたことを忘れてはならない。この学校草創期を知る題材として昭和12年(1937年)に大阪市電気局と大阪市産業局が大阪市の観光宣伝のために制作した映画「大大阪観光」(大阪市指定文化財)がある。これは、戦争で中止されることになるが、日本での開催が決まっていたオリンピックや万国博覧会なども踏まえて制作されるときに、当時の大阪の世相を知る貴重な資料である。

「大大阪」と呼ばれたマンモス都市圏と人々の暮らしを映画とともに大阪都市の形成過程などに造詣が深い橋爪先生を招いて講演いただき、「明」と「暗」の両面に学術的な面からスポットを当ててみる。

【裏面写真は、昭和初期の大阪駅の様子(「目でみる大正時代・下」国書刊行会編)】



講師紹介

はしづめ せつや

橋爪 節也 先生

1958年大阪市生まれ。専門は日本東洋美術史。東京藝術大学美術学部、大学院を修了後、美術学部附属古美術研究所、大阪市立近代美術館建設準備室(主任学芸員)を経て、現在、大阪大学教授、大阪大学総合学術博物館館長、大学院文学研究科兼任。編著書に『モダン心斎橋コレクション-メトロポリスの時代と記憶』(国書刊行会)、『大大阪イメージ増殖するマンモス/モダン都市の幻像』(創元社)、大阪大学総合学術博物館叢書4『映画「大大阪観光」の世界-昭和12年のモダン都市-』、同叢書9『戦後大阪のアヴァンギャルド芸術-焼け跡から万博前夜まで-』(共に大阪大学出版会)など。

お申し込み方法

ハガキでの お申し込み

ハガキに「開館記念講演会参加」と明記のうえ、①ご芳名、②連絡先ご住所、③電話番号、④参加人数をご記入ください。

ファクシミリでの お申し込み

本書下欄に必要事項をご記入いただき、そのまま送信してください。

電子メールでの お申し込み

標題を「開館記念講演会参加」としていただき、①ご芳名、②連絡先ご住所、③電話番号、④参加人数をご記載ください。

送付先

〒535-8585 常翔歴史館記念講演会係

(送付先住所の記載は不要です)

送信先

06(6954)-4009 (渉外課)

電子メールアドレス (QRコードもご利用ください)

museum@ofc.josho.ac.jp

*お預かりした個人情報、参加票の発行及び今後の常翔歴史館企画展・講演会のご案内の参考にさせていただく以外の目的で使用するは一切ございません。

*講演会の最後に質疑応答時間を用意しております。講演者への質問事項がございましたら、お申し込みのときに簡潔にご記入ください。時間の関係で全てのご質問にお答えすることはできないかもしれませんが、質疑応答時に参考とさせていただきます。



聴講申込書(ファクシミリ用)

フリガナ			参加者数	申込代表者を含めて		名
ご芳名						
ご住所	〒					
電話番号	()	—	ファクシミリ	()	—	
質問事項等						